



2009 夏に挑む!

白石工業高等学校 目指せ! 甲子園!

6月6日、福島県宮あづま球場(福島市)で開催された第56回春季東北地区高等学校野球大会。1回戦の聖光学院(福島第1代表)との試合で、ベンチを勢よく飛び出す白石工の選手たち



今年で91回目を迎える全国高等学校野球選手権大会。7月11日から始まる宮城県予選に、わがまちの白石工業高等学校が、第3シード校として夏の甲子園大会への出場を目指します。

春の県大会で選抜ベスト4の利府高を3位決定戦で破り、6月5日からの東北大会に宮城県第3代表として出場した白石工をリポートしながら、夢の甲子園出場に挑む白石工野球部をご紹介します。

第56回春季東北地区高等学校野球大会 VS 聖光学院での白石工球児たち

写真1 1回表、先制のホームを踏むセンター駒場くん／写真2 2回裏同点に追いつかれマウンドに集まる選手たち／写真3 5回裏、ピッチャー村上くんのけん制でタッチアウト／写真4 先発のエース高橋くん／写真5 5回表、レフト前ヒットのセカンド菊池くん／写真6 3番手として4回から登板したピッチャー村上くん／写真7 4回表、ライト前ヒットのサード佐々木くん／写真8 1回の表、2点タイムリーを放ったキャッチャー小野寺くん／写真9 1回表、レフト前ヒットのトップバッターの駒場くん ※東北大会のレポートは4・5ページに掲載

敗者からの復活劇

第56回春季東北地区高校野球大会は、県内4地区の予選を勝ち上がった24校が出場し、5月22日から26日まで県内4会場で開催された。白石工は、1回戦で築館高を4対2で破り、春の県大会5年ぶりの初戦突破を果たした。2回戦の大河原商、準々決勝の石巻高に競り勝ち準決勝に進出。準決勝の相手は東北高。6年前に日本ハムのダルビッシュ投手を擁する東北高に0対6で破れており、雪辱戦に臨みました。残念ながら試合は2対8で破れ、同じく仙台育英に8対1で敗れた利府高との第3代表決定戦へ。利府高といえは、春の選抜でベスト4となった強豪校。戦前の予想を覆して白石工が6回に先制すると、8回にも追加点を挙げ、左腕のエース高橋くんの好投で2対0と勝利し東北大会出場を決めました。

6月2日、白石工の体育館で東北大会に出場する野球部の壮行会が開催され、全校生徒が集合しました。
始めに、荒雄祐生徒会長(3年)が、「朝早くから夜遅くまで練習をしている皆さんは、必ず東北大会を戦い抜けるものと信じています。けがに気を付けて、工業旋風を巻き起こしてください」と選手を激励。また、佐々木太校長は、「ここに至るまで、いろいろなドラマがありました。プレッシャーに負けずに本来の力を出せたのは、普段の練習と練習の中で培った気力であると思います」と選手たちをたたえました。

野球部を代表して、長山大志主将(3年)が「東北大会は、一生に一度の経験だと思えます。チーム一丸となって楽しい野球をしてきたいと思えます」と、少し緊張した面持ちでありつつ、全員で校歌を斉唱し、大会への決意を新たにしました。

壮行会で校歌を斉唱して健闘を誓う

